

ALUMNI ASSOCIATION OF U-AIZU.

会津大学同窓会 会報誌 第8号

目次

巻頭特集 座談会 P3, 4

大学の近況 P5, 6

同窓生を訪ねて P7, 8

データで見る会津大学 P9

事業報告・決算予算 P10, 11

同窓会からのお願い P12

◆ データでみる会津大学
倍率回復は落ち着く、
大震災の今後が課題か

◆ 巻頭特集 座談会2012

「シナジーを生み出す “場”の構築に向けて」

開学20周年を迎えるにあたり求められる同窓会の役割とは

! 今年度のホットなトピックは？ 平成23年度出来事一覧

2012

02.13 平成23年度卒業論文発表会

02.08 復興支援でサイエンス・カフェ

01.18 学生がスマホアプリを企画し
プレゼンテーション

01.13 会津大学復興支援フォーラム

01.06 会津大学復興支援センター
(仮称) 構想を発表

2011

12.28 航空宇宙分野の人材育成で
JAXAと連携

12.20 コンテストや学会で大学院生が
多数受賞

11.14 中南大学(中国)と大学間交流
協定を締結

11.11 パソコン甲子園2011開催

10.18 蒼翔祭開催

10.14 会津IT秋フォーラム2011

10.03 大学院平成23年度秋季入学式

10.03 震災復興と被災学生支援で協力

09.30 平成23年度秋季学位記授与式

09.29 気象学若手研究者の栄誉「山本・
正野論文賞」に三瓶准教授

09.12 会津SLF協議会「IT人材育成プロ
グラム」開講

08.06 オープンキャンパス夏ステージ

08.02 コンピュータサイエンスサマー
スクールCSSC2011開催

07.27 郡山市で「はやぶさ」解説
ふれあい科学館に教員派遣

07.26 産業振興と雇用創出に会津若松
市、アクセンチュアと協定

07.24 学生ビジネスモデル企画コンペ～

07.15 「shiomori」アジア地区予選へ
ACM-ICPC国内予選大学別3位

07.14 エコキャップで被災地支援
約6万個分を寄託

07.12 IT人材育成で雇用創出
会津SLF協議会設立

06.15 震災時と復興にITの活用を
特別フォーラム開催

06.02 中学生の研究室見学ツアー開催

05.10 国際連携、海外2大学と協定締結

05.06 平成23年度入学式

04.29 会津坂下町でサイエンス・カフェ
開講

04.22 復興を応援「赤べこプログラム」
スタート

03.30 創明寮内覧会

シナジーを生み出す“場”の構築に向けて

開学20周年を迎えるにあたり求められる同窓会の役割とは

前田 会津大は今年20周年を迎えます。卒業生の9割が会津を離れてしまうことは毎年の課題ですが、市長はITの分野にお強いとのこと、大学との関わりや市の方向性などをざくばらんにお聞きしたいと思います。開学には地元の強い要望もあったと聞いていますので、そのあたりも原点回帰としておうかがいしたい。

市長 当時は開学前にインターネットが世に広まり始めた頃で、開学にあたってはやはり期待が大きかった。これまでは進学を希望するなら会津から出ざるを得ないわけですから。四年制大学は地元の、特に産業界が望んでいましたね。大学があれば人材流出を止められるんじゃないかと。

前田 どのあたりから情報系に特化しようという話になったのですか。

市長 國井学長を初代に選んだ時点で方向性は決まったでしょう。もうひとつは社会主義国の崩壊です。有能な人材が流出し、タイミングは良かった。当時、新城さんを含めた我々は青年会議所にいまして「大学ができるなら側面から応援しましょう」と、色々動いていました。我々も学生と食事に行って話したり、意識的に交流しました。

前田 久田さんは1期生として入学されたわけですけど、当時の雰囲気は？

久田 私は國井先生に指導いただいたの一人目の博士号です。当時先生がおっしゃっていたのは「海外では優秀な学生ほど大学に残らず外にでてベンチャーを起こす」と。私は3年ほど大学教員だったのですが、やはり先生の言葉を思い起し、会津に戻ってベンチャーを興したんです。私も含め、まだまだグーグルやマイクロソフトを視野に入れられるベンチャーは出てきてない。最近では起業も鈍り気味な気がします。

前田 そうですね。そういう広がりが少し弱

くなっていった感じはあります。

市長 行政もダウンサイジングで皆さんが自立しやすい環境ではないのかもしれないけど、色んなものをコンピュータの中で挑戦して、アップルのようなチャレンジャーになって欲しい。

前田 学生からすると交流のきっかけが少ないのが悩み。小さい仕事から地域の人との関係性ができて、積み重なっていくうちに会津に残りたいとシフトすると思うんです。ベンチャーをいきなりできるものではない。野山さんは会津にもある富士通にお勤めですが、今はベンチャーに向かうか、大きいベンダーに入ってIT産業を支える、二つの主流があると思います。大手で活躍するOBもいらっしやいますね。

野山 今は会津と直接関係のある仕事ではなありませんが、日本の国産3社や外資系などに相当数、卒業生がいます。

前田 その中でも、30代後半になった1期生や2期生の方が責任のある立場になりつつあるのでは。

野山 大手ベンダーだと40代がピーク。卒業生がそのポジションに至るまではあと5～10年かかりますね。

前田 大手ベンダーの中でITの専門大学に求められるものはどんな面でしょう。後輩へのアドバイスも含めて。

野山 大企業は多様性のある人材を求めている、特に単科大学は人気が無くなっています。もう少し幅広く、コンピュータ以外で異なる人材交流をしてきた人を求めている。学内だけの交流じゃなく、産業界の人達とふれあってもう少し自分の知見を増やしていくべき。コンピュータ技術のほかに、幅広い知見をもっている人材が求められているんです。

前田 会津大学は単科で、他の分野と交わる機会がほとんど無いですからね。地域と大学とのギャップは20年経ってもなかなか埋まらないようです。

市長 社会から学べる事は技術よりも重要で、アルゴリズムが分かっても社会の仕組みを知らずにプログラムは書けない。会計手順を知らないと会計ソフトは作れないよね。それと、大手がどんな人材を求めているのかは非常に興味があります。

前田 市として、卒業生が東京などでIT産業を担う人になってほしいのか、それとも地元に残り残ってほしいといった要望はあるのですか？

市長 優秀=情報、力です。いろんな場や業種に会津を出た人材がいることで、地元の力も持続できと思っています。意見はそれぞれにありましたが、開学時に「採用は地元から」という声ばかりではもちろんなかった。優秀な人のネットワークができ、今日もこうやって輪になり話ができる。こういうネットワークをどう使うかで、必ずしも地元に残る選択にはこだわってはいません。

商工会議所や経済団体など地元との接点は実はたくさんあって、アイデアを形にできる「場」をつくるのが我々の仕事です。インキュベートにもこれからますます力をいれていきます。



会津若松市市長
室井 照平

昭和30年9月28日生まれ、東北大学経済学部経営学科卒業、平成11年会津若松市市議会議員に初当選、福島県議会議員等を経て現職。

久田 このまえ『会津若松都市計画マスタープラン』で意見させてもらったのは、大学周辺の環境についてです。金沢に大学教員として住んでいたのですが、大学の周りは本屋などの店が並んで、学生で溢れているのですが、会津大学の周りをもっと栄えさせるのも課題ですね。

市長 なんとなく人が集まる「場」のようなオープンスペースがあって、というのは理想なんですけど、新城さん。(笑)

新城 市長のご意向をうけてがんばっております。(笑)

前田 例えば地元の人が訪ねて「こういうことしてくれる人いない?」とか、そういう繋がりが出来るイメージですか？

市長 そう。毎週そこで誰かが語って、勉強会して帰るとか、そういう仲人的機能をもった場所だよね。

前田 そういう場は必要だと思います。矢口先生、システムプログラムを作るのに、例えば「困りごとのお題」があれば実感をもって取り組めるのではと考えますが。

矢口 10期生だった僕はアルバイトやベンチャーに関わり、それなりに外と繋がっていましたが、最近の学生は、色んなことをやりたい思いは強いのにマッチングの機会が無い。最近は「雲、サロンなど大学主催のトーク事例もありますが、やはり地元の方から出



株式会社会津ラボ 代表取締役
久田 雅之

会津大学1期生。会津大学初代学長、國井先生に師事し、大学教員等を経て2007年に創業、現在に至る。

地域問題を解決するのはいいことだと思います。

大学側はベンチャー起業を積極的に推奨しているし、あちこちの社長さんを招いて講演なども行っています。交流が深まれば大学にも産業側にもいいはず。コンピュータサイエンスは世の中のベースだから、その上に色んなものを組んでようやく芽が出る。「初音ミク」みたいな音楽や芸術に入っていくコンピューティングとか、会津は工芸に結びつく観光資源がいっぱいありますよね。そういったものへのサポートは、今まさにやるべき時だと思うんです。

前田 場も必要、結びつける人も必要。

矢口 企業ベースで芸術とITを融合させるアイディアも出ています。ただ、地域のほうから積極的に繋がりたいという要請があれば、大学もやりやすいんですが。

前田 ベンチャー工房でつくったものを発表したり、学生が面白いサービスを発表したっていいですね。インキュにも関係すると思いますが、大学に対して市のほうは少し遠巻きに見ている感があります。ITと畑の違う仕事を選んだ根本さんにも今までの経緯を踏まえてのお話を。

根本 この大学への動機は、新聞で地元とこういうイベントをやりましたという記事を見たのがきっかけです。『コンピュータサイエンスサマーキャンプ』で地元の方々イベントをやるようになりましたが、みなさんが懸念して

いる学生と地域とのコミュニケーション不足を打開できたと思っています。そのなかで私は政治に興味をもち、今はいわき市内で議員の秘書をやっています。

前田 地方政治でもIT技術を生かせそうですか？

根本 これからネット選挙も解禁されると思いますので、まずは議員のホームページ。インターネットや人などを通じて、自分の意見を伝える方法が大事になってくると思います。会津大学は大人しい学生が多いので、もっと地元の方々と、できればキャンパスだけじゃなく、自分の足で動いて門を叩けるような人材を育成できたらいいなと思います。大学の就学支援室で職員として働いた時期は、高校生を対象に『パソコン甲子園』もやりました。教える学生の照会などもあって、元気な学生を紹介したこともありましたね。

前田 それがもっと学生主体で組織化されてるといい。

根本 そうですね。個人的には「渋谷大学」が参考になると思っています。本当の大学ではないのですが、渋谷区をキャンパスに、企業や店のオーナー、官司など、さまざまな人が先生になって区民に教えています。

前田 なるほど。ITも基本的なインフラになっているので、もっと市民の人にコンピュータを近づけるような大学にできたらいいのではないかと思いますね。



会津大学同窓会 会長
野山 孝太郎

会津大学2期生。会津大学卒業後、富士通株式会社勤務。同窓会副会長を経て2011年より現職。

新城 統計的に数値を出せるほどのサンプル数はありませんが、福島県全体としての起業者数は上がっています。ところが会津大発ベンチャーは久田さんさっきおっしゃったようにあまり出てこない。

最先端のコンピュータサイエンス技術をもって、世界制覇するというようなビジネスモデルがかつてありましたが、その頃とは違い、ITで基本的なインフラができているからそこに付加価値をつけなくてはならない。ところが、何を乗せるかとなると、コンピュータの単科大学は、じつは非常に辛い立場になっている。

私のまわりに現役の学生さんは結構いるんですが、コンピュータとまったく関係ないことでも非常に興味をもってくれるのが大変面白い。例えば「甲冑の作り方」をとても独創的で、その基礎プロセスは多分、大学で勉強していることがベースになっているのだと思う。

会津大発のベンチャーの皆さんは技術的に素晴らしいけれど、領域的には「なんでもOK」ではない。自分の得意領域ってある程度集積することで間口を広げることができるのではないかな。私は、何社もが混然として事業をする中にいて、そこでは新しいビジネスや会社が発生しています。優秀な方がいる何社かが物理的に近いとこにいるだけで効果が出て、それを地域の人達や学生に見てもらうことにより、次が出てくるのではと期待しています。

前田 物理的な距離が近いとシナジーが起きやすい、という話ですね。大学は基礎研究の積み上げ場だと思います。何に使うか見付けた人が起業するわけで、それを地域から得られるのが理想です。



株式会社デザインウム 代表取締役

前田 諭志

会津大学6期生。2005年株式会社デザインウム創業。座談会での司会進行役。

新城 大学の論理があつて、産業界や行政にもある。それぞれが目指す所は一緒のはずだけど優先順位が違ったり、通る道が違ったりするので、そこを調整していかないと相乗効果は発揮できない。相手を攻めず、自分はず、何ができるかを伝えないとね。

野山 IT技術は裾野が非常に広がっていて、より上に何かを積んでないと現場でも通用しにくくなっています。開学時にあった、会津大をシリコンバレーにしようという構想は、中国や韓国、インドなどで同じような取り組みも特区をつくって行っています。私も中国蘇州にあるITパークを視察したのですが、国策として非常に広い土地で電力も安く提供している。ものすごい企業なんかも誘致するし、ベンチャーも国として力をいれている。

その中で、ローカライズされたベンチャーがグローバルな戦いをどう乗り切るのかは、非常に難しい課題だと思っています。若手に求められているのは、自分が今いるところより広い視点でものを考えつつ、アクション事態はローカライズでおこせるようなそんな力。そのローカルをどう一段二段高いグローバルなところへ発想を広げられるか会社ぐるみで取り組んでいます。

前田 それは会社全体としてやらないとグローバルで戦えないという？

野山 例えば富士通では、研修の一環で秋葉原のオタク文化を見学に行くツアーをやっていたんです。IT以外のところで、どこにいま人はお金をおとすのか。今までのIT、富士通はこれをやる、という既成の概念から、一歩でも二歩でも出て行くことは、我々だけでなくて他の会社でも同じ方向性かな。



根本 雅昭

会津大学7期生。NPO法人日本コンピュータ振興協会を設立。現在は参議院議員秘書を務める。

矢口 学生がアクションを起こしにくい要因に「自分がそこに携わってバイできるか?」ってことがあるようです。チャレンジとリスクのせめぎ合いで、リスクをしっかりと見切れてなので、チャレンジも出来ない。それがバイできれば、多分彼らも動けると思うんですが。それでも「試しにやってみる」というチャレンジ精神も、最近あんまり聞かないんですよね。

前田 全体を吟味して「これなら大丈夫」みたいな担保は、そうそうあるわけではない。社会が学生を巻き込んでみて、意外と大丈夫だよっていうところをみせるのが大事なと。

矢口 キャズム理論みたいな話で、技術をやっていこうとすると最初に障壁が1つあって、その障壁は避けるんですが、その後の管理にどれくらいリスクがかかるのかまで、今の学生はみてるんですよ。

前田 僕がベンチャーでバイトしていた時代は、先輩が机の下で寝ていたりとか、いつもカレー作っていて、勝手にどうぞ的ないかにもベンチャーという雰囲気もあったりしましたが、今はOBベンチャーも安定してきて、ちゃんとしてしまった。今の世代は、ベンチャー創生期の混沌に触れられていないような気がします。

矢口 最近できた学寮は面白くて、学生同士でいろいろ触発されて、アルバイトに行ったり、中でごちゃごちゃ開発してたりということがあって。それもいいなと思うんですが、いかんせん内に籠もっちゃう。やっぱり外との関わりの薄さという問題は発生してしまってますね。



会津大学助教

矢口 勇一

会津大学9期生。会津大学コンピュータ理工学研究科博士。画像処理学講座。



前田 大学周りでビジネスプランコンテストのようなこともやって欲しい。そういうところに学生に発表に立ってもらい、そろばんを弾ける人達から意見をもらおう。多少お金を出したっていいだろうし、ウチでちょっとバイトというものもありだろうし。

エッジのある起業アプローチって、どういふうに見付けるのがいいんですかね。

久田 一言で言うと論文しかない。エッジのきいた技術は相当上のレベルでないと。私もよく海外とコンタクト取って面白い機器を取り寄せているんですけど、最近見た基礎技術は2年前に発表されたものなんです。マイクロソフトが“Kinect”って人体の動きをとるデバイスを出していますが、その対抗馬になるだろうといわれている。

論文が発表されて2年後に技術が出て来ることもあるので、そこをいかに追いかけるか。そのためには、学部卒では論文を読んで実装までは行けない。大学院が前提になってくる。

今残念なのは、大学院生がどんどん減っていることです。國井先生の時代、240人の学生のうちの120人は修士に行って60人が博士とするというのが構想でしたが、今は一桁ぐらいいしかドクターが出ない。シリコンバレーにしてもIT産業が伸びている所は、ドクターを取った人が新しいものを動かすんです。

市長 まず、論文を書けなくてはだめなんだよね。

久田 今の日本は大学の先生ですら論文の数を出してない傾向にある。先生が論文を出してないのに、学生が論文を書けるわけがな

いでしょう。私も以前は大学で教えていたことがあるので思うのですが、民間にいる人のほうが論文数を出してるくらいです。

そういった環境の中で新しいものを求める為には、根底から考え直さないといけなくて、そのために必要なのは、とにかく論文を読む事。何かしながらでもいいから新しい論文を5人ぐらいで読んでくわかってくるんです。それを繰り返すことによって、底が伸びていくことがあります。

矢口 最近うちの院生はみんなスタンドプレイですね。何人かで読めばうまくなっていくものも、一人でやるから全然うまいかない。一人がひとつずつ読んで5人集まれば5つ読めるはずですよ。そういう知識の共有には弱いんですね。

前田 そろそろまとめにはいらななくなりませんね。これまで出た話は、場の重要性。アカデミックな領域はあくまで大学主導でやるしかないと思いますが、理論や論文のニーズにどんなものがあるのかというのは、それを製品として実装する企業側からも挙げられると思います。

アカデミックな場の中にいる学生に、起業や就職へのアドバイスはどう整理をつければいいのか。本人の選択次第とは思いますが、いい方向にいける引力のある「場」が欲しいと思います。そういう意味でも大学の価値をもっと最大化させるってところでいきたいですね。

野山 同窓会の価値っていうのは、まさに今まで出ていた話ですね。繰り返しになりますが、IT技術はもう当たり前のものになって

いて、それをどう生かしていくのか、それで何をやっていくのかという、次のステップに話がおよんでいると。

もう一つは、地域という物理的なロケーションに、あまり縛られるものの考え方をしてしまうと、これからくる時代には生き残っていけないと、今の立場から思います。本当ににが必要なのか、どこと組むのかを考えながら、物理的な制約に縛られない幅広い考え方が求められています。

いろんな場所で企業が育って、最終的に福島のために、会津のためになってくる。やはり、一歩二歩先の考え方をこれからの後輩達に身につけてもらうためにも、現場で苦しんでいる我々が、企業支援や就職活動支援というような形で、ノウハウやモノの考え方とかを教えていくような場。これは同窓会がどんどん積極的にやってくれないと思いますね。

市長 ここに卒業生が残らなきゃいけない、みんなが遠くに引っ越うんで悲しいとは思っていない。人的ネットワークが大事で、そういう意味は同窓会がときどき会津に対して目を向けてくれたり、情報をくれたり、現役に刺激をあたえてくれるのであれば有り難いと思いますね。

1億2千万人の人口がいる日本で50万人が会津に観光で来てくれれば大成功。しっかり応援してくれる人達とネットワークを組んでいく生き方が必要だなと思います。私も皆さん同窓会も会津若松市を忘れないで欲しい、もり立ててほしい。現役への支援もやっていきますから、どうか今後に期待してください。

！ 同窓会理事挨拶



野山孝太郎
会長
東京支部
第2期生
富士通株式会社

この度、同窓会会長職を拝命した2期生の野山と申します。
本同窓会では「出会いから感動を」を理念として、これまでも人と人の繋がりがや絆を重視した様々な事業に取り組んで参りました。
昨年「東日本大震災」という未曾有の大惨事を迎えた私達の第2の故郷である福島・会津若松の為に何ができるのか、再び、創設時の理念に立ち返りながら、皆様と一緒に考えていける同窓会でありたいと願っています。



奥山祐市
副会長兼会津支部長
会津支部
第2期生
会津大学

同窓会副会長・会津支部長をさせていただいている奥山です。学生時代はハードウェア学科の仲間たちと旅行へ行ったり、セミナーを開いたり、また、所属していたスキー部の先輩後輩と足前を磨いたり(もっぱら私は宴会部長でしたが・・・、会津大学にはたくさんの思い出があります。
会津大学は設立してから20年ほどしかたっていないから、ほとんどの皆さんは(私も含めて)学生時代などを思い出す暇もなく、お仕事や子育ての日々を過ごされていると思います。

ちょっとした時間に旧友とのコミュニケーションを取ったり、今後10年、20年、退職後に再会して、大きな仕事や旅行等をできるよう、会津大学同窓会は準備をしています。
まだまだ小さい同窓会ではありますが、気が向いたときにでも「会津大学って同窓会があるんだ」ということを思い出し、見守っていただければ幸いです。
1期生の皆さんが60歳になるころには、会津大学同窓会会員は1万人を超えているはずですから！



・氏名
・役職
・所属支部
・会津大学第○期生
・勤務先
・挨拶(役割・抱負、大学や会津への想い)



小野 洋
理事
東京支部長
第5期生
NECシステムテクノロジー(株)

5期生の小野です。このたび会津大学同窓会東京支部長を拝命しました。以前より、同窓会監事として務めてまいりましたが、支部長ということで身の引き締まる思いです。学生時代は、学祭実行委員会や写真部・自動車部でキャンパスライフを楽しみました。
現在は東京で仕事をしていますが、地元が福島県ということもあり、時々会津に戻ると懐かしく思います。今後も会津と卒業生の橋渡し役となれるよう、務めてまいりたいと思います。



林 康寛
理事
東京支部
第3期生
株式会社日立システムズ

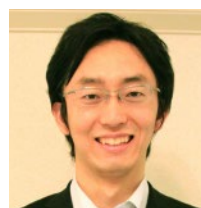
1995年入学の元三期生です。主にラグビー部や新聞部に所属。春、夏はラグビー、秋は「芋煮会」などで会津の文化を知り、冬は、当時最先端だった「スノボ」等で、キャンパスライフを謳歌しました。「東日本大震災」後、第二の故郷の状況を見て何かしたいなと思い、同窓会設立以来久々に同窓会運営に参加中。会津地域の復興と大学の更なる飛躍をテーマとし、会員数の多い東京支部の同窓会コミュニティを早期に確立したいと考えています。どうぞよろしくお願いします。



根本 雅昭
理事
会津支部
第7期生
参議院議員・岩城光英事務所(秘書)

会津大学では、会津を心から愛している方々と多くの素晴らしい出会いがあり、さらに、修学支援専門員として多くの学生と接することができ、絆の大切さや会津の温かさを実感する日々でした。東日本大震災以降、多

くの方々が非常に厳しい環境を強いられている今日、お世話になった方々に少しでも恩返しができるよう、これまでの絆や会津大学で学んだ知識を生かし、同窓会の一員として尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。



真野 啓明
理事
東京支部
第7期生
NECソフト株式会社

私は会津に生まれ、大学院卒業まで24年間会津にお世話になった生粋の会津っぼです。長い間自分を育ててくれた故郷と大学に、わずかでも恩返しできるチャンスを頂いたことに感謝いたします。

同窓会のイメージというと「過去の繋がりを維持する組織」といったところでしょうか。ところが、同じ目的を満たす手段は過去と比べて格段に増えています。今年も同窓生達と会う機会を積極的に作りながら、これからの同窓会の価値を探っていききたいと思います。



久田雅之
理事
会津支部
第1期生
株式会社会津ラボ

この度、会津大学同窓会理事に就任いたしました、第一期生の久田雅之です。

私は初代学長の國井先生が目指した会津学園都市構想、会津シリコンバレーの創成を夢に見、5年前に自ら会津で起業しました。会津大学発ベンチャーの1社として、その先端を自らが走れるよう一所懸命に努力しています。

これまでの会津大学同窓会における活動としては余り活発では無かった、FaceBook等を活用したソーシャル的なつながりや同窓会会員が利用出来るコミュニケーションの場(物理的、仮想的問わず)の構築など、会員の皆様の為になる活動をどんどん推し進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



前田 諭志
理事
会津支部
第6期生
株式会社デザインウム

学生時代はほとんど授業にも出ず、OBベンチャーでのバイトと映画製作に明け暮れた日々でした。周囲を誘って起業して6年目、会津に来て14年が経ちました。結果としてこの地域にいくらかの根を張ることができましたが、枝葉としてのOBのつながりが成長しなければ循環を生み出す生態系が作れないと思っています。地域と大学の価値を最大化させるために頑張ります。



桜井 一徳
理事/仙台支部長
仙台支部
第2期生

会津大学同窓会仙台支部長の桜井です。福島県出身ということで、同県の大学へは特別な思いがあります。大学時代はスキー部に所属し、地元のコーチの皆さま方との交流を図っておりました。

現在は仙台在住で仕事をしております。震災復興の最中、「絆」を大切に、仙台を中心として東北全体の会津大学同窓会の発展に寄与していきたいと思っています。



野仲 真佐男
理事
大阪支部
第4期生
パナソニック(株)

会津大学と聞いて、真っ先に思い出すのは「本当に色々な人がいたなあ」ということです。また卒業後も、ITに限らず、幅広い分野で活躍されていると聞いています。

震災や原発問題などにより漂っている閉塞感を打破するためには、若い世代によるイノベーションが必要だと思います。イノベーションは異種な人達との交わりにより生まれます。そういう意味で、本同窓会は、よいきっかけの場になる可能性があります。そのような活動をサポートできるような同窓会に出来ればと思っています。



板橋秀樹
理事
仙台支部
第4期生
(株)パナソニックモバイル開発研究所

仙台支部の板橋です。出身は福島県内ですが、現在は地元を離れ仙台で勤務しております。卒業生の多くが全国各地で活躍しており、卒業後は交流の機会も少なくなっているのが現状だと思います。私自身、数年間役員を務めておりますが、交流の機会を作るという意味では同窓会がしっかり機能していることが重要と感じました。

今後も同窓会組織としての運営をサポートし、同窓会会員同士の交流が活発になるよう協力したいと思います。



佐藤 敏博
事務局長
会津支部
第3期生

会津に来てもうすぐ17年。1995年入学の3期生です。学部3年生の時にソフト開発のバイトを体験してからずっと、小規模なシステムを作る仕事をだらだらと続けております。でも5年生のときはわりと校庭でサッカーばかりやって...あの頃は！Tバブルで良かったなあ...

それはともかく、同窓会では事務担当ということで皆様のお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



相馬 正継
理事/大阪支部長
大阪支部
第1期生
ローム株式会社

大学を卒業後すぐに会津を離れ、縁もゆかりもない京都に勤務して十数年になります。本同窓会の立ち上げ時に大阪支部長の命を授かり、遠く離れた関西を中心に卒業生の交流の輪を広げる活動をしています。

現在は大阪近辺が活動の中心ですが、これからより多くの卒業生同士との交流の場を作っていきたいと考えています。

大学開学から約20年弱、他校と比較するとまだまだ未熟ですが、将来に栄えある同窓会になるよう皆さんと一緒に盛り上げていきましょう。



崎川 佳宣
理事
東京支部
第2期生

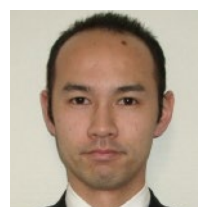
会津大学同窓会理事(東京支部)の崎川です。年に数回、大学を訪れていますが、行く度に楽しかった学生の頃を思い出しています。私が理事になるきっかけとなった交流会を、各支部ほぼ年に1回実施しています。懐かしい仲間との再開や新しい後輩との出会いが多くありますよ！それでは皆さん、交流会でお会いしましょう。



上野文彦
理事
会津支部
第1期生
株式会社シンク

本年度より会長を辞し、理事に就任を致しました。会長を辞した理由は長期に渡り務めさせて頂いたためです。

この8年間の同窓会運営については、反省の多い中ではありますが、しっかりと継続できる運営基盤作りに注力を致しました。同胞の繋がりは人生を必ず豊かにするものと思います。会津大学同窓会は今後も安定して継続してまいります。会津大学も来春で20回目の新入生を迎える節目の年となります。新体制になる会津大学同窓会を、引き続き宜しくお願い申し上げます。



西田 元
監事
東京支部
第8期生

「会津」と聞くと、神奈川育ちの私が初めての会津の冬の雪の多さに感動し、自然の厳しさを改めて感じたことを今でも思い出します。会津大学は、日本全国から集まった学生と構内生活だけでなく、そこで過ごした対自然という日常生活も共有できる貴重な時間と空間を提供してくれました。会津大学で芽吹いた「人と人の繋がり」という貴重な財産を、同窓会が守り育てていく助けになれるよう、微力ながら私も尽力したいと思います。

平成22年度進路状況 全学平均内定率93.8%

学部

コンピュータ理工学科		進路希望		内定者数	
就職	民間企業	127	17	115	14
	県内	28	5	29	6
	県外	99	12	86	8
	内定率	90.6%			
	教員	4	0	4	0
	公務員・団体等	6	0	6	0
	起業	0	0	0	0
	家業	0	0	0	0
	小計	137	17	125	14
	就職率	91.2%			
進学	本学大学院	62	5	62	5
	他の大学院	5	1	5	1
	海外の大学院	0	0	0	0
	小計	67	6	67	6
	その他	8	1	8	1
未定・未回答		0	0	0	0
合計		212	24	200	21

博士前期課程

コンピュータ・情報システム学専攻		進路希望		内定者数	
就職	民間企業	53	1	53	1
	県内	5	0	5	0
	県外	48	1	48	1
	内定率	100.0%			
	教員	1	1	1	1
	公務員・団体等	2	1	2	1
	起業	0	0	0	0
	家業	0	0	0	0
	小計	56	3	56	3
	就職率	100.0%			
進学	本学大学院	2	0	2	0
	他の大学院	0	0	0	0
	海外の大学院	0	0	0	0
	小計	2	0	2	0
	その他	3	2	3	2
留年		9	2	0	0
休学		0	0	0	0
未定・未回答		0	0	0	0
合計		61	5	61	5

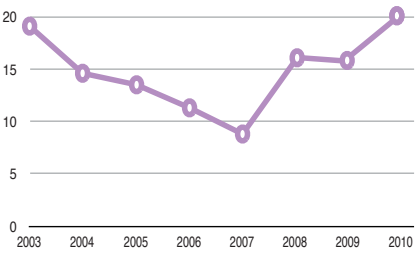
大学院の就職率は100%を維持、県内就職率も増加(または「学部は下方傾向」)

平成22年度卒業生の最終就職率は、大学院は100%を維持したものの、学部は一昨年度の92.5%から91.2%と、わずかながら低下した。県内就職率で見ると、大学院、学部共に増加しており、特に大学院生の割合が一昨年度の0%から約10%の増加となった。一方、今年度は東日本大震災の影響で2か月ほど採用活動を延期した企業が多く、会津大学の就職担当者によると、大学への求人数は平成22年度709件、平成23年度585件と、昨年度より100件以上少ないという。就職率の更なる低迷が懸念されるが、大学で集計しているデータによると、1月末

現在の就職率で大学院91.8%、学部76.1%と平年並みに健闘しており、一概に大学への求人数に就職率は比例しないようだ。学生が、企業の採用活動延期にも冷静に対応した結果と言えるのではないだろうか。また、依然として学生の大手志向は強く、県内就職にこだわる学生以外は、大手企業が多く集まる首都圏へ進む傾向にある。県内企業への就職の低迷が続く一因には、学生の希望に見合う規模の企業が少ないこと、会津大学生の強みを生かせる職種の求人数が少ないことは否めない事実として挙げられる。

学部・大学院卒業
県内就職率の推移

県内就職者割合	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
学部（民間）	110	132	132	136	137	158	110	115
学部（県内）	21	5	18	15	11	26	25	29
学部（割合）	19.1%	18.9%	13.6%	11.0%	8.0%	16.4%	22.7%	25.2%
院（民間）	47	60	60	58	45	43	48	53
院（県内）	10	3	8	5	5	6	0	5
院（割合）	21.3%	5.0%	13.3%	8.6%	11.1%	13.9%	0%	9.43%
合計（民間）	157	192	192	141	182	201	158	168
合計（県内）	31	28	26	16	16	32	25	34
合計（割合）	19.7%	14.6%	13.5%	11.3%	8.8%	15.9%	15.8%	20.2%



志願者倍率が再び低下、大震災、原発事故と関連か？

今年度の会津大学志願者倍率は3.1倍と、2008年に2.9倍の過去最低を記録して以降、2番目に低い倍率となった。東日本大震災や東京電力福島第1原発事故の影響が懸念されたが、被災地3県の国公立大学と比較(*グラフ)しても、会津大学の志願倍率低下は著しく、単に震災・災害の影響とは考え難い部分もある。「理系離れ」もその要因として考えられるが、全国のコンピュータ系の学部を持つ大学の志願倍率は増加傾向だ。やはり、今回の大幅な志願倍率の低下は、震災と原発事故の風評が少なからず影響していると考えざるをえない。

次年度以降、どこまで志願者率を回復できるか、今後の大学広報のあり方にも注目したい。

2012年度被災地3県の国公立大学志願倍率

(*グラフ)

大学名		募集人員	志願者数	志願倍率		
				12年度	11年度	変動
福島	会津大学	174	543	3.1	4.4	-1.3
	福島大学	670	3546	5.3	4.3	1.0
	福島県立医大	135	1316	9.7	9.4	0.3
宮城	東北大学	1953	6239	3.2	3.4	-0.2
	宮城大学	248	1336	5.4	6.2	-0.8
	宮城教育大学	300	1176	3.9	4.3	-0.4
岩手	岩手大学	839	3083	3.7	3.4	0.3
	岩手県立大学	277	2152	7.8	6.2	1.6

！ 同窓会事業報告

！ 総会報告

10月9日(土)、平成23年度会津大学同窓会総会、並びに会津支部交流会が開催されました。総会は来賓挨拶に始まり、上野会長挨拶に続いて各種議案の承認、収支報告など恙無く執り行われました。



学園祭での後輩支援活動

！ 平成23年度 事業報告

1. 会報誌の発行

会津大学や同窓生の近況を伝えることを目的とした、会報誌を発行した。

2. 会津大学同窓会サイトの運営

同窓会組織、ならびに同窓会事業に対する理解を深めてもらい、様々な活動への参加を促進する為に、同窓生をターゲットとしたサイトの運営を行った。

3. 同窓生懇親会・交流会の開催

総会と合わせた懇親会の他に、遠く離れた同窓生も気軽に参加できる場の実現を目指し、各支部単位での交流会

を開催した。

4. 総会及び懇親会

一年の経緯として、総会で、平成22年度事業報告及び決算報告行うとともに平成23年度の事業計画及び予算が承認された。その承認及び関連する規約変更を行った。

5. 就職相談会の開催

学園祭において、同窓会役員による就職相談会を開催した。様々な業種の同窓生がそろうことで、幅広い相談を可能とした。



総会後の懇親会

5. イベントサポート事業の実施

交流会は回数や場所が限定されてしまうため、同窓生の個別の集まり・交流を支援するために考案されたイベントサポート事業の初の実施を行った。



イベントサポート事業

！ 平成24年度 事業計画（案）

基本理念 『出会いから感動を』

第二の故郷とも言える学生時代過した会津での思い出を元に、多くの会津大学卒業生が本同窓会事業による再会・出会いをきっかけとして、今に生きる、また、これから新たに生まれる、価値ある人のつながりや、感動を創造する。

活動指針

『一. つながり』

同窓生、在校生、教職員をつなぐ同窓会

『二. 建学の精神』

建学の精神を次代へ伝える同窓会

『三. 堅実・信頼』

事業の継続性・定着性を常に意識し、多くの卒業生の信頼を獲得する。

◎事業内容

◆会報誌の発行(平成16年度より継続)
会津大学や同窓生の近況を伝えることを目的として、会報誌を発行する。

◆会津大学同窓会サイトの運営(平成16年度より継続)

同窓会組織、ならびに同窓会事業に対する理解を深めてもらい、様々な活動への参加を促進する為に、同窓生をターゲットとしたサイトの運営を行う。また、今後は、同サイト上に同窓会理事会の活動状況(理事会議事録など)も公開していく。
(http://www.u-aizuob.info/)

◆同窓生交流会の開催(平成18年度より継続)

同窓生の再会の場を交流会により提供する。各支部単位での交流会など遠く離れた同窓生も気軽に参加できる場の実現を

図り、より多くの同窓生の参加を目指す。

◆会津大学事業活動および同窓生の交流支援

母校会津大学および同窓生の様々な活動に対する支援・協力。

◆理事会・総会の定期開催

理事会を概ね2ヶ月に一度、場所を会津・東京を交互に開催する。理事会では、事業案・予算案の作成や会運営全般に関する議論を行う。総会は10月に開催される会津大学学園祭に併せて開催をし、主に、計画・予算に関する審議を行う。また、総会同日に後援会と合同で懇親会を開催する。

◆支部会の充実

支部会の会員への連絡機能を拡充することから、各支部任意に連絡員を配置する。また、支部独自の運営を促し、同窓会の活性化を図る。

！平成22年度 同窓会収支決算報告書

【収入の部】 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前期繰越金	7,388,481	7,388,481	平成21年度より繰越
会費	2,440,000	2,440,000	18期生243名＋編入生1名×10,000円
雑収入	10,000	1,759	
合 計	9,838,481	9,830,240	

【支出の部】 (単位：円)

科 目	予算額	収入済額	摘 要
事業費	600,000	315,000	会報作成委託費
交流会費	600,000	202,606	各支部交流会
雑費	60,000	19,365	理事会会場キャンセル料、振込手数料
会議費	100,000	88,000	理事会会場使用料等
管理費	20,000	17,430	サーバー使用料・ドメイン維持費
旅費	700,000	505,340	出席役員旅費等
郵送料	10,000	0	
慶弔費	10,000	0	
寄付金	1,000,000	1,000,000	会津大学教育環境整備支援寄付金
予備費	300,000	0	
合 計	3,400,000	2,147,741	

【収支予算額】

収入総額	9,830,240 円
支出総額	2,147,741 円
繰 越 金	7,682,499 円

！平成23年度 同窓会収支予算

【収入の部】 (単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増減	摘 要
前期繰越金	7,682,499	7,388,481	294,018	平成22年度より繰越
会費	2,520,000	2,440,000	80,000	19期生252名×10,000円
雑収入	6,000	10,000	-4,000	
合 計	10,208,499	9,838,481	370,018	

【支出の部】 (単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増減	摘 要
事業費	600,000	600,000	0	会報・HP委託費
交流会費	500,000	600,000	-100,000	各支部交流会
助成費	100,000	0	100,000	イベントサポート
寄付金	1,000,000	1,000,000	0	震災復興寄付
慶弔費	10,000	10,000	0	
会議費	100,000	100,000	0	理事会会場使用料等
旅費	700,000	700,000	0	理事会出席役員旅費等
郵送料	10,000	10,000	0	
管理費	20,000	20,000	0	サーバー使用料・ドメイン維持費
雑費	60,000	60,000	0	事務用品、振込手数料
予備費	1,300,000	300,000	1,000,000	
合 計	4,400,000	3,400,000	1,000,000	

【収支予算額】

収入予算額	10,208,499 円
支出予算額	4,400,000 円
繰越予算額	5,808,499 円

※科目間の流用は、理事会決議により可とする。

同窓会をきっかけに大学ともう一度関わってみませんか？

・同窓会会員として連絡先の登録をお願いします

来年度から「会津大学の今」を伝えるメールマガジンが、
会員の皆様に送られます。

不定期発信になると思います。大学の今をより知ることができます。
大学卒業時に登録を行っていない方や住所などに変更があった方は
登録をお願いします。

【登録方法】

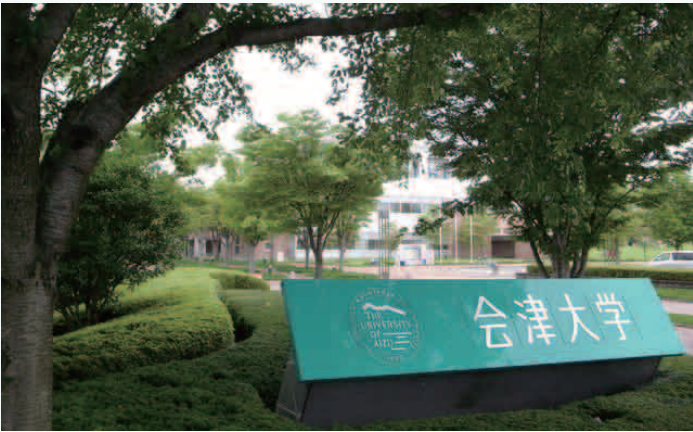
- ①<http://www.u-aizuob.info/> にアクセスするか、または
検索エンジンで『会津大学同窓会』で検索してください
- ②会員情報の登録や更新の「登録 / 更新するには」を選択します
- ③入力フォームより登録下さい

・大学や同窓会への要望をお寄せ下さい

- ・巻頭特集の座談会や OB インタビューに参加したい
- ・OB/OG として、大学にリクルーティングに行きたい
- ・大学の研究内容に興味がある・共同開発がしたい

【上記に関するお問い合わせ先】

広報担当 前田 maeda@u-aizuob.info まで



【発行元・連絡先】

会津大学同窓会（会津大学学生課） TEL: 0242 - 37 - 2600